

実習 シーケンス制御 自己評価(ルーブリック法) ステップ3終了時(最終評価)

※学習内容について、自己評価をしてみよう。

					氏名	
評価規準	A 知識・技能	B 思考力・判断力・表現力			C 主体的に学習に取り組む態度	
	基礎的・専門的な知識	判断力	発想力・創造力	表現力	回復力	協働性・コミュニケーション能力
すばらしい(A)	課題9～課題16まで全てを作成し、技能士の問題に挑戦した。	課題9～課題16まで全てを作成し、技能士の問題において必要な記号を思考し配置する事ができた。	課題9～課題16まで全てを作成し、技能士の問題をサンプルプログラム以外のプログラムを発想することができた。	レポート提出時に、教員からの口頭試問についての確に解答することができた。	技能士の問題にチャレンジし、何度も方法を変えて挑戦することができた。	技能士の問題にチャレンジすることができ、協働作業者と意見を出し合いながら挑戦することができた。
できている(B)	技能士の問題に挑戦することができなかったが、課題9～課題16まで全てを作成する事ができた。	それぞれの課題において必要な記号を正しく配置する事ができなかったが、課題9～課題16までをサンプルプログラム等で作成することができた。	課題9～課題16まで、サンプルプログラムによって動作を確認することができた。	レポート提出時に、教員からの口頭試問についての確に解答する事ができなかった。	何度も方法を変えて挑戦することはできなかったが、技能士の問題にチャレンジすることはできた。	協働作業者と意見を出し合いながら挑戦することはできなかったが、技能士の問題にチャレンジすることができた。
がんばろう(C)	課題9～課題16まで全てを作成する事ができていない。	課題9～課題16まで全てを作成する事ができていない。	課題9～課題16まで全てを作成することができていない。	レポート提出する事ができていない。	技能士の問題にチャレンジすることができなかった。	技能士の問題にチャレンジすることができなかった。
自己評価点						